



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400  
 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,140	△3.5	344	△8.2	355	—	226	—
29年3月期第1四半期	7,398	3.5	374	43.6	△134	—	△305	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △202百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △834百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.05	8.03
29年3月期第1四半期	△11.32	—

(注) 29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	41,645	30,799	73.9	1,071.01
29年3月期	39,755	28,937	72.7	1,080.96

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 30,783百万円 29年3月期 28,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	2.6	550	△52.0	550	△2.8	290	△28.0	9.78
通期	31,800	5.2	1,550	△11.5	1,550	1.1	1,050	3.8	35.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	29,662,851株	29年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	920,847株	29年3月期	2,920,750株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	28,142,069株	29年3月期1Q	26,978,031株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州ともに個人消費が底堅く推移するなど、全体として緩やかな景気拡大が続きました。また、国内経済は、企業収益や設備投資、雇用環境の改善などを背景に、回復基調が持続いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境について、ゲーミング市場は、新規開設するカジノホール数が減少するなど、厳しい状況にありましたが、コマーシャル（金融・流通・交通等）市場は、地域や分野による濃淡はあるものの、総じて堅調な需要がみられました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、射幸性の抑制などを目的とする規制強化の影響を受けて、顧客の設備投資に対する慎重姿勢が続きました。

このような環境下において、当社グループは、国内外や市場の別を問わず、顧客のニーズを充足する高付加価値製品の販売を推進するとともに、製造原価の低減に取り組むことで、売上拡大及び収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、一部製品の前年度における需要増加の反動もあって、当第1四半期連結累計期間における売上高は71億40百万円（前年同四半期比3.5%減）となり、また、利益面でも事業譲受けに伴う販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は3億44百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。なお、経常利益は3億55百万円（前年同四半期は、多額の外貨建資産に係る為替時価換算差損を計上したため、1億34百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億26百万円（前年同四半期は3億5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替レートは、米ドル112.85円（前年同四半期は115.73円）、ユーロは120.21円（前年同四半期は127.78円）で推移し、また、当第1四半期連結期間末の時価評価に適用する四半期末日為替レートは、米ドル112.00円（前連結会計年度末は112.18円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①グローバルゲーミング

北米地域では紙幣識別機ユニット等の需要が減少し、また、欧州地域では前年度の旺盛な買替需要の反動があったことなどにより、当セグメントの売上高は37億22百万円（前年同四半期比9.7%減）、セグメント利益は5億99百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

## ②海外コマーシャル

北米金融市場向け紙幣識別機ユニットの販売は減少いたしました。また、欧州及び中国向け紙幣識別機ユニットの販売が好調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は9億28百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益は74百万円（前年同四半期は5百万円）となりました。

## ③国内コマーシャル

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニットの販売は好調でありましたが、外貨両替機の販売が伸び悩んだことなどにより、当セグメントの売上高は4億85百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。しかしながら、利益率の高い製品の販売が増加したことなどにより、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比223.3%増）となりました。

## ④遊技場向機器

メダル自動補給システムなど主力製品の販売は減少いたしました。また、昨年実施した事業譲受けにより取扱製品及び顧客層が拡大したことなどにより、当セグメントの売上高は20億4百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。しかしながら、当該事業譲受けに伴う経費の増加などにより、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比69.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、416億45百万円となりました。主に新株予約権の行使により「現金及び預金」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ18億90百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、108億45百万円となりました。「未払法人税等」及び「賞与引当金」が減少した一方で、「支払手形及び買掛金」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、307億99百万円となりました。新株予約権の行使による自己株式の処分により「自己株式」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ18億62百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益3億59百万円、減価償却費2億37百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは5億13百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出2億21百万円などの資金の支出がありましたので、2億28百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額2億27百万円などの資金の支出がありましたが、新株予約権の行使による自己株式の処分による収入22億91百万円などの資金の増加がありましたので、20億42百万円の収入となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額81百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は93億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億45百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日付決算短信の発表数値から変更はありませんが、今後の需要動向による業績への影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,166,931	9,412,709
受取手形及び売掛金	6,013,379	5,481,016
有価証券	23,309	78,535
商品及び製品	8,039,619	7,812,921
仕掛品	639,501	865,004
原材料及び貯蔵品	2,706,568	2,911,165
その他	1,747,447	1,705,316
貸倒引当金	△212,194	△211,091
流動資産合計	26,124,563	28,055,577
固定資産		
有形固定資産	4,991,188	5,093,758
無形固定資産		
のれん	2,291,518	2,161,510
技術資産	391,124	356,716
顧客関連資産	3,374,108	3,181,045
商標権	451,267	425,654
その他	128,633	130,537
無形固定資産合計	6,636,651	6,255,465
投資その他の資産		
その他	2,059,157	2,295,980
貸倒引当金	△56,025	△55,196
投資その他の資産合計	2,003,132	2,240,784
固定資産合計	13,630,971	13,590,008
資産合計	39,755,535	41,645,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,161,879	3,333,281
短期借入金	3,703,538	3,699,200
未払法人税等	224,871	132,817
賞与引当金	381,654	200,460
役員賞与引当金	21,000	—
その他	2,624,066	2,708,213
流動負債合計	10,117,009	10,073,972
固定負債		
その他	701,097	771,846
固定負債合計	701,097	771,846
負債合計	10,818,107	10,845,818
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,574,312
利益剰余金	27,070,148	27,069,327
自己株式	△2,629,621	△829,083
株主資本合計	28,726,436	31,031,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,098	408,676
為替換算調整勘定	△23,427	△657,084
その他の包括利益累計額合計	180,670	△248,408
新株予約権	30,320	16,674
純資産合計	28,937,428	30,799,767
負債純資産合計	39,755,535	41,645,586

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,398,370	7,140,115
売上原価	4,681,650	4,300,465
売上総利益	2,716,719	2,839,650
割賦販売未実現利益戻入額	16,070	12,702
割賦販売未実現利益繰入額	—	11,420
差引売上総利益	2,732,790	2,840,932
販売費及び一般管理費	2,357,923	2,496,906
営業利益	374,866	344,026
営業外収益		
受取利息	2,016	325
受取配当金	10,509	13,893
為替差益	—	7,312
その他	14,901	5,972
営業外収益合計	27,428	27,503
営業外費用		
支払利息	9,406	10,776
為替差損	522,834	—
その他	4,462	5,324
営業外費用合計	536,704	16,100
経常利益又は経常損失(△)	△134,409	355,429
特別利益		
固定資産売却益	206	343
投資有価証券売却益	—	3,786
特別利益合計	206	4,130
特別損失		
固定資産除却損	2,521	0
固定資産売却損	54	—
特別損失合計	2,576	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,780	359,560
法人税、住民税及び事業税	181,035	143,043
法人税等調整額	△12,522	△9,970
法人税等合計	168,512	133,073
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△305,292	226,486
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△305,292	226,486

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△305,292	226,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,657	204,577
為替換算調整勘定	△516,657	△633,657
その他の包括利益合計	△529,314	△429,079
四半期包括利益	△834,607	△202,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△834,607	△202,592
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,780	359,560
減価償却費	238,501	237,809
のれん償却額	48,721	47,612
引当金の増減額(△は減少)	△114,629	△205,359
受取利息及び受取配当金	△12,526	△14,218
支払利息	9,406	10,776
為替差損益(△は益)	403,735	△18,011
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,786
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,370	△343
売上債権の増減額(△は増加)	102,693	350,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,838	△464,104
仕入債務の増減額(△は減少)	72,758	334,020
未収消費税等の増減額(△は増加)	124,631	65,580
その他	12,738	△68,530
小計	808,461	631,401
利息及び配当金の受取額	12,354	14,390
利息の支払額	△9,406	△10,776
法人税等の支払額	△341,050	△122,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,358	513,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	23,431	△51
有形固定資産の取得による支出	△81,846	△221,239
有形固定資産の売却による収入	466	352
無形固定資産の取得による支出	△2,885	△12,099
投資有価証券の取得による支出	△401	△389
投資有価証券の売却による収入	—	5,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,235	△228,380
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△231,544	△227,308
リース債務の増加による収入	297	—
リース債務の返済による支出	△29,007	△20,729
自己株式の取得による支出	△41	△113
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	2,291,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,296	2,042,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	△257,887	△81,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△109,061	2,245,777
現金及び現金同等物の期首残高	8,794,795	7,146,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,685,734	9,392,709

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による自己株式の処分により、資本剰余金が505,348千円増加し、自己株式が1,800,652千円減少しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,574,312千円、自己株式は829,083千円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,124,253	876,999	511,153	1,885,964	7,398,370	—	7,398,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,124,253	876,999	511,153	1,885,964	7,398,370	—	7,398,370
セグメント利益	732,422	5,425	5,210	76,811	819,868	△445,002	374,866

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,722,196	928,061	485,656	2,004,200	7,140,115	—	7,140,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,722,196	928,061	485,656	2,004,200	7,140,115	—	7,140,115
セグメント利益	599,188	74,089	16,846	23,401	713,525	△369,499	344,026

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新株予約権の権利行使)

当社が平成29年3月28日に発行した第三者割当による第2回新株予約権につき、平成29年7月1日から平成29年7月18日までの間に、以下のとおり行使され自己株式の処分が行われております。

- ①行使新株予約権の数：9,000個
- ②処分した自己株式数：900,000株
- ③行使価額の総額：988,300千円
- ④自己株式の減少額：810,313千円
- ⑤その他資本剰余金増加額：184,736千円